

決算報告

【平成22年度の主な事業】

- **今庄中学校耐震大規模改造事業**
..... 4億232万8千円
今庄中学校(校舎・体育館)耐震大規模改造事業により、耐震性を確保し、教育環境の改善を図りました。
- **町道河野大良線道路改良事業**
..... 4,490万7千円
法面の崩壊や落石を未然に防止するため、吹付けや防護網を整備し、安全な通行確保を図りました。
- **町道鯖波エリア線道路改良事業**
..... 3,863万8千円
狭小な道路幅員を拡幅整備し、交通の安全確保と南条スマートICへのアクセス機能の向上を図りました。
- **福祉バス購入事業**
..... 805万4千円
福祉バスの購入により、高齢者等の生活の利便性の向上を図りました。
- **森林居住環境整備事業**
..... 3,184万円
林道菅谷・大谷線を開設整備し、森林整備や地域林業の振興、活性化を図りました。

【特別会計】

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	11億3,045万5千円	11億2,543万5千円
国民健康保険今庄診療所	2億9,522万4千円	2億9,375万9千円
河野診療所	9,368万3千円	9,306万1千円
簡易水道	1億8,073万円	1億8,061万5千円
個別排水処理施設	1,095万6千円	1,087万4千円
農業者労働災害共済	1,508万4千円	98万8千円
老人保健	78万7千円	78万7千円
後期高齢者医療	1億3,689万円	1億3,634万7千円
農業集落排水	4億1,744万2千円	4億1,734万3千円
老人保健施設	1億5,118万円	1億4,967万2千円
介護保険	12億4,996万6千円	12億48万5千円
ケーブルテレビ	1億2,389万1千円	1億1,283万1千円
下水道	2億8,575万3千円	2億8,570万2千円
代継基金運用	70万円	70万円

【企業会計】 水道事業

収益的収支 (水道料等での収支)	収入額	支出額
	1億9,225万4千円	1億9,189万4千円
資本的収支 (施設建設等の収支)	収入額	支出額
	148万6千円	3,531万2千円

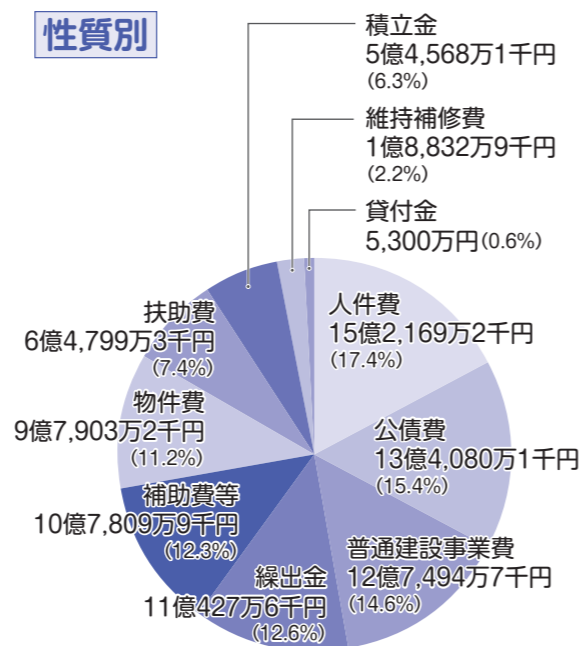
■ 問合せ 企画財政課 TEL 47-8012

※決算額は千円未満を四捨五入

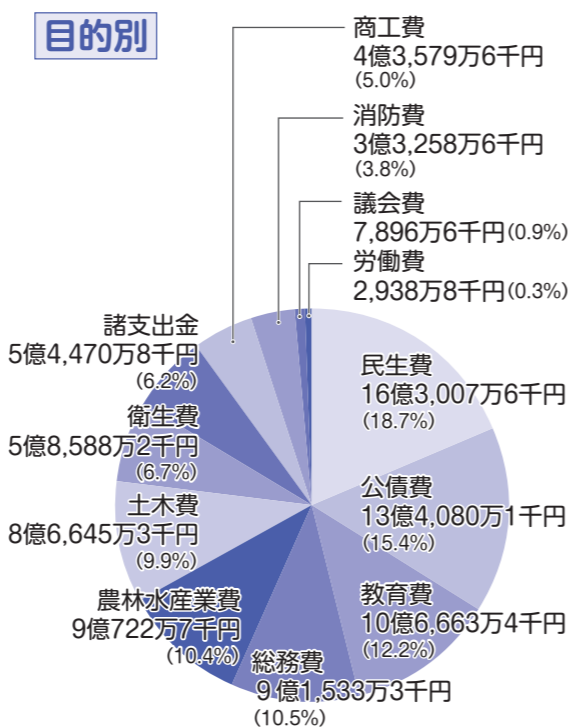
一般会計歳出

87億3,385万円

性質別



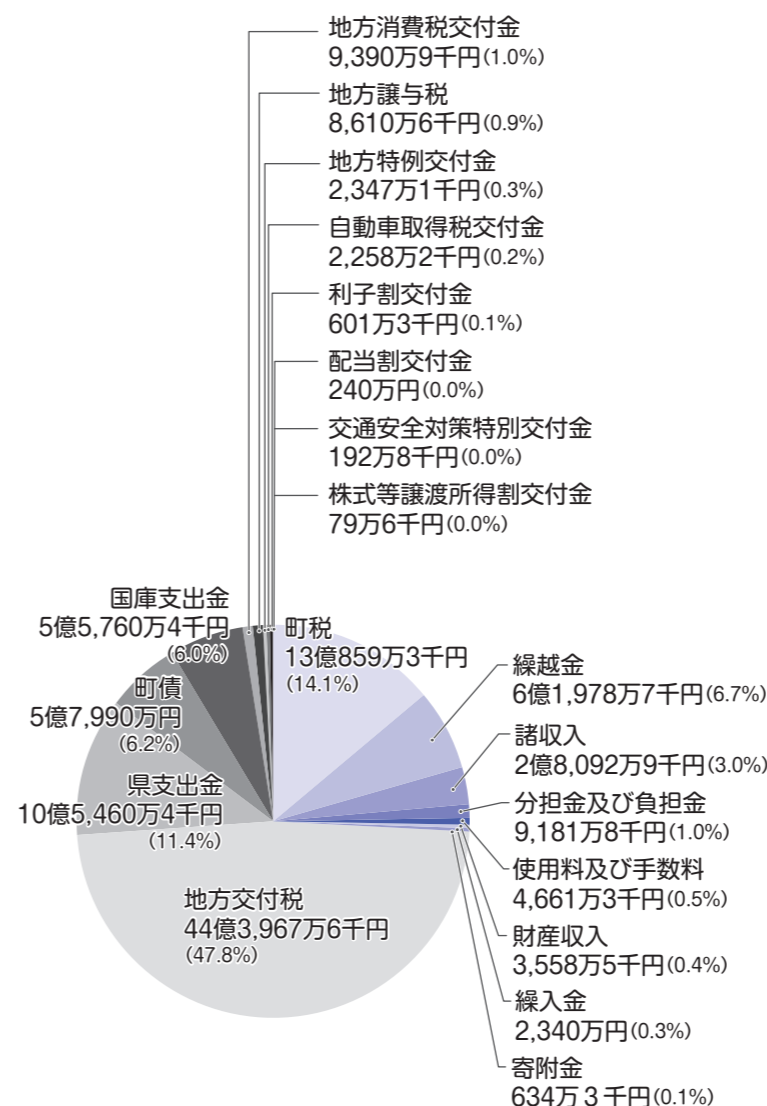
目的別



一般会計歳入

92億8,205万7千円

■ 自主財源 (26.1%)
■ 依存財源 (73.9%)



【歳入(主な増減の内容)】

国の緊急経済対策(地域活性化・臨時交付金、定額給付金事業補助金)の減により国庫支出金が5億5,800万円余り、地域活性化・生活対策基金繰入金の減により繰入金が8,000万円余り、また、所得の減少により町民税が5,300万円余り減少しました。

一方で、地方交付税が約2億500万円、諸収入については、公共施設管理公社委託料精算金等の増により約5,600万円増加しました。

【歳出(主な増減の内容)】

人件費のうち、職員の給料等が、職員数の計画的削減により3,400万円余り減少し、議員報酬等は議会議員定数の減により1,300万円余り減少しました。

また、扶助費が、子ども手当の支給などにより約1億1,200万円増加し、大雪に伴う除雪経費の増により、維持補修費が約9,800万円増加しました。

工事費など道路や公共施設の整備に必要な普通建設事業費は、南条中学校耐震大規模改造事業などの大型普通建設事業の完了により5億2,600万円余り減少しました。

補助費等は、定額給付金事業が前年度に終了したことなどにより1億7,000万円余り減少しました。

借金の返済にあたる公債費は、元金の返済額が増えたことにより約3,500万円増加しましたが、財政調整基金に約5億4,000万円を積み立てることができました。

その結果、平成22年度の一般会計の歳出決算額は平成21年度と比べて、2億1,800万円余り減少となりました。

今後の財政運営にあたっては、財源の確保に努め、年度間調整に留意しながら均衡ある地域発展を図るための諸施策を展開してまいります。

町の財政状況を判断する「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定されている町の財政指標については、広報10月号でお知らせしています。

南越前家の家計簿

22年度のわが家の家計です。
21年度と比べてみました。
by 愛子



町の普通会計（一般会計ほか4つの特別会計を合わせたもの）の財政状況を一般家庭の家計にたとえ、平成21年度と平成22年度を比較してみました。

町と一般家庭では、金額の規模や使い道が大きく異なり、単純な比較方法では表せないものもありますが、ここでは各年度の住民一人当たり決算額を算出し、一般家庭を6人家族と設定して換算しました。

平成21年度…決算額91億6,582万円÷人口12,165人×6人家族≒452万1千円

平成22年度…決算額89億1,147万円÷人口12,005人×6人家族≒445万4千円

(人口はそれぞれ4月1日現在)

家族構成《6人家族》

南越前 豊 (本人・会社員)
愛子 (妻・主婦)
蓮 (長男・大学生)
海 (長女・小学生)
未来 (次女・幼稚園)
里子 (祖母)

収入

毎年、入ることが決まっている収入 315万1千円

	21年度	22年度	増減
給料等収入(地方税、地方交付税等)	303万2千円	315万1千円	11万9千円
諸手当(国県支出金)	107万5千円	81万円	-26万5千円
預貯金利息等(財産収入)	2万3千円	1万9千円	-4千円
預貯金の取り崩し(繰入金)	5万4千円	1万2千円	-4万2千円
その他臨時的な収入(諸収入・繰越金等)	5万9千円	17万2千円	11万3千円
ローン(町債)	27万8千円	29万円	1万2千円
合計	452万1千円	445万4千円	-6万7千円
預貯金残高(財政調整基金・減債基金)	82万8千円	109万7千円	26万9千円

支出

毎年、支出することが決まっている経費 287万円

	21年度	22年度	増減
食費・日用品費等(人件費)	80万2千円	79万3千円	-9千円
光熱水費・電話料等(物件費)	49万6千円	53万9千円	4万3千円
医療費(扶助費)	26万4千円	32万4千円	6万円
ローン返済(公債費)	64万6千円	67万7千円	3万1千円
長男への仕送り(繰出金)	56万4千円	53万7千円	-2万7千円
車等の修理代(維持補修費)	4万4千円	9万5千円	5万1千円
お小遣い・区費等(補助費等)	62万円	54万1千円	-7万9千円
家の増改築・大型家具等の購入(普通建設事業費)	92万1千円	64万7千円	-27万4千円
貯金(積立金)	13万8千円	27万4千円	13万6千円
親戚等に貸したお金(貸付金)	2万6千円	2万7千円	1千円
合計	452万1千円	445万4千円	-6万7千円
ローンの残高(地方債残高)	532万5千円	501万4千円	-31万1千円

平成17年に結婚(合併)した南越前家。結婚してから7年が経とうとしています。平成22年度の家計簿がまとまり、平成21年度と比べてみました。平成22年度の家計はどういう状況だったのでしょうか…

● 給料等収入(地方交付税)は増えたけど…景気悪化などにより町税収入が減少しましたが、国からの交付税が増加したことによるものです。

● 諸手当(国県庫出金)は減りました…昨年、国からの一時的な交付金(経済危機対策経費)があったことによるものです。

● 食費・日用品費等(人件費)が少し減りました…これは、職員採用の抑制による職員給の減少と議会議員定数減による議員報酬等の減少によるものです。

● お小遣い・区費等(補助費等)が減りました…これは、昨年の定額給付金の給付が今年は無かったことによるものです。

● 家の増改築・大型家具等の購入(普通建設事業費)が減りました…これは、諸手当(国県支出金)の減少によるものです。昨年、国からの臨時的な交付金が交付されたことに伴う普通建設事業(道路や公共施設などの新増設等の建設事業にかかるとのお金)が減少しました。

● 預貯金残高(財政調整基金・減債基金)は26万9千円増加し、ローンの残高(地方債残高)は31万1千円少なくなりましたが、引き続き厳しい台所事情に変わりはないので、支出を抑えていくことが必要ですね。